



2023年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年3月15日

上場会社名 株式会社スマレジ 上場取引所 東
 コード番号 4431 URL <https://corp.smaregi.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 山本 博士
 問合せ先責任者（役職名） 取締役 副社長（氏名） 湊 隆太郎 (TEL) 06-7777-2405
 四半期報告書提出予定日 2023年3月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年4月期第3四半期の業績（2022年5月1日～2023年1月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期第3四半期	4,168	—	639	—	642	—	675	—
2022年4月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
		円 銭		円 銭				
2023年4月期第3四半期		35.21		35.07				
2022年4月期第3四半期		—		—				

(注) 2022年4月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、2023年4月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2022年4月期第3四半期の経営成績（累計）及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年4月期第3四半期	5,733	4,469	77.9
2022年4月期	5,189	4,196	80.9

(参考) 自己資本 2023年4月期第3四半期 4,469百万円 2022年4月期 4,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年4月期	—	0.00	—	—	—
2023年4月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年4月期の業績予想（2022年5月1日～2023年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,816	40.2	850	24.6	853	32.0	843	89.5	44.99

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2 業績予想の修正については、本日開示いたしました「2023年4月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年4月期3Q	19,635,000株	2022年4月期	19,633,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年4月期3Q	484,702株	2022年4月期	130,037株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年4月期3Q	19,198,081株	2022年4月期3Q	19,455,977株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 当社は、2021年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2023年3月16日（木）に決算説明会をオンライン配信にて開催する予定です。また、決算補足説明資料については、事前にTDnet及び当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（2022年5月1日から2023年1月31日まで）における我が国経済は、物価高による下押し圧力を受けるものの、経済社会活動の正常化を追い風に回復基調で推移しました。また、新型コロナウイルス対策は新たな段階に移行し、10月には水際対策が緩和され、インバウンド消費にも回復の兆しが見られました。

一方で、世界的な資源・原材料価格の高騰と物価上昇、急激な為替変動など、世界経済は先行きが不透明な状況が続いております。

このような事業環境のなか、当社は2023年1月1日にサービスの価格改定を実施いたしました。サービスリリース当初の2014年から現在に至るまで、「スマレジ」「スマレジ・タイムカード」の価格体系を据え置いておりましたが、今まで以上にサービスの拡充・改善を実施してゆくため、管理体制の強化を目的とし価格を改定いたしました。なお、売上高は堅調に増加しておりますが、当第3四半期累計期間における価格改定の影響は軽微であります。

また、中期経営計画に基づいた広告宣伝活動、組織力の増強を目的とした積極的な採用活動、販売体制の強化等、S&Mを中心とした事業投資を継続しておりますが、効率的な投資ができていることもあり、営業利益、経常利益は増加しております。

加えて、2022年7月1日付で当社の連結子会社であった株式会社ロイヤルゲートを吸収合併しております。これに伴い、特別利益に抱合せ株式消滅差益を、法人税等に法人税等調整額（益）を計上したことにより、四半期純利益が増加しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高は4,168百万円、営業利益は639百万円、経常利益は642百万円、四半期純利益は675百万円となりました。

なお、前第3四半期累計期間（2021年5月1日から2022年1月31日まで）は、四半期財務諸表を作成していないため、四半期損益計算書に係る比較情報は記載しておりません。

また、当社はクラウドサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。当社はクラウドサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

販売高前年同期比

(単位：千円)

販売内訳	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2022年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)	前年同期比(%)
月額利用料等	1,706,387	2,441,117	+43.1
機器販売等	1,211,259	1,635,786	+35.0
その他	1,898	91,748	—
合計	2,919,545	4,168,651	+42.8

(注) 販売内訳の名称を、「クラウドサービス月額利用料等」を「月額利用料等」へ、「クラウドサービス関連機器販売等」を「機器販売等」へ変更いたしました。なお、集計方法に変更はありません。

「スマレジ」の登録店舗数、アクティブ店舗数及び累積取扱高の推移は以下のとおりであります。

登録店舗数の推移

	2019年4月	2020年4月	2021年4月	2022年4月	2023年1月
スタンダード	55,897	67,895	76,745	86,275	94,632
プレミアム	1,710	2,755	3,212	4,345	5,406
プレミアムプラス	3,077	4,976	6,425	8,196	9,102
フードビジネス	2,035	2,687	3,179	3,865	4,486
リテールビジネス	4,028	5,481	6,604	7,782	8,680
フード&リテール	74	104	148	260	319
店舗合計	66,821	83,898	96,313	110,723	122,625

※スタンダードは無料プランとなっております。それ以外は有料プランとなっております。プラン毎にサービス内容が異なります。また店舗数の定義は、有料プラン無料プランに関わらず、実際に「スマレジ」でサインアップを行い、登録された店舗数です。お客様1社が複数の店舗を保有されている場合は、その店舗数分カウントされます。

アクティブ店舗数（プラン別登録店舗数に対するアクティブ店舗数の比率(%)）の推移

	2019年4月	2020年4月	2021年4月	2022年4月	2023年1月
スタンダード	3,681 (6.6)	4,889 (7.2)	6,012 (7.8)	6,970 (8.1)	7,726 (8.2)
プレミアム	1,598 (93.5)	2,308 (83.8)	3,029 (94.3)	4,147 (95.4)	5,106 (94.5)
プレミアムプラス	2,771 (90.1)	4,640 (93.3)	6,169 (96.0)	7,833 (95.6)	8,562 (94.1)
フードビジネス	1,931 (94.9)	2,473 (92.0)	3,022 (95.1)	3,675 (95.1)	4,255 (94.9)
リテールビジネス	3,872 (96.1)	5,210 (95.1)	6,382 (96.6)	7,475 (96.1)	8,367 (96.4)
フード&リテール	64 (86.5)	96 (92.3)	145 (98.0)	255 (98.1)	317 (99.4)
アクティブ 店舗合計	13,917 (20.8)	19,616 (23.4)	24,759 (25.7)	30,355 (27.4)	34,333 (28.0)

累積取扱高の推移

	2019年4月	2020年4月	2021年4月	2022年4月	2023年1月
累積取扱高 (百万円)	1,769,706	2,610,754	3,468,715	4,605,960	5,788,144

※累積取扱高とは、クラウド型POSレジ「スマレジ」のサービス開始以降、ユーザーが「スマレジ」を使って販売した商品やサービスの金額の合計をいいます。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて142百万円増加し、4,741百万円となりました。この主な要因は、関係会社短期貸付金が200百万円減少したものの、現金及び預金が261百万円増加したこと等によるものであります。当第3四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末に比べて401百万円増加し、992百万円となりました。この主な要因は、のれんが86百万円、繰延税金資産が210百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ544百万円増加し、5,733百万円となりました。

② 負債

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べて269百万円増加し、1,178百万円となりました。この主な要因は、前受金が102百万円、賞与引当金が109百万円増加したこと等によるものであります。当第3四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度に比べて2百万円増加し、86百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ271百万円増加し、1,264百万円となりました。

③ 純資産

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べて272百万円増加し、4,469百万円となりました。これは、主に四半期純利益を675百万円計上したこと及び自己株式が397百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月期通期の売上高は、堅調な顧客獲得により、当初発表した予想を若干上回る見込みであります。また、中期経営計画に基づく積極的な広告宣伝活動を中心とした事業投資を継続しておりますが、効率的な投資ができていることから、営業利益及び経常利益は、当初計画を上回る見込みとなります。当期純利益につきましては、2022年9月12日に開示いたしました「連結子会社の吸収合併に伴う特別利益及び法人税等調整額(益)の計上に関するお知らせ」にも記載のとおり、特別利益(抱合せ株式消滅差益)及び法人税等調整額(益)を計上したことにより、当初発表した予想を上回る数値に修正いたしました。

詳細につきましては、本日開示いたしました「2023年4月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,511,282	3,773,043
売掛金	351,221	329,060
商品	329,337	422,016
前払費用	87,655	125,546
関係会社短期貸付金	200,000	—
その他	119,288	91,695
貸倒引当金	△289	△341
流動資産合計	4,598,497	4,741,022
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	105,281	87,927
工具、器具及び備品（純額）	7,945	36,412
有形固定資産合計	113,226	124,340
無形固定資産		
のれん	—	86,666
商標権	939	830
ソフトウェア	148,911	169,900
ソフトウェア仮勘定	70,912	91,475
無形固定資産合計	220,763	348,873
投資その他の資産		
投資有価証券	9,990	29,870
出資金	18	18
敷金	186,406	205,790
繰延税金資産	54,865	265,664
その他	17,135	18,409
貸倒引当金	△11,146	—
投資その他の資産合計	257,268	519,752
固定資産合計	591,259	992,966
資産合計	5,189,756	5,733,988

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	164,197	162,533
未払金	256,396	196,829
未払費用	39,676	40,360
未払法人税等	103,030	150,187
未払消費税等	—	76,746
前受金	300,440	402,934
預り金	38,085	9,224
賞与引当金	—	109,237
その他	6,971	30,290
流動負債合計	908,798	1,178,345
固定負債		
資産除去債務	84,094	86,206
固定負債合計	84,094	86,206
負債合計	992,892	1,264,551
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,150,354	1,150,539
資本剰余金	1,139,864	1,134,274
利益剰余金	2,184,007	2,859,895
自己株式	△277,362	△675,272
株主資本合計	4,196,863	4,469,437
純資産合計	4,196,863	4,469,437
負債純資産合計	5,189,756	5,733,988

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)
売上高	4,168,651
売上原価	1,636,266
売上総利益	2,532,384
販売費及び一般管理費	1,892,792
営業利益	639,592
営業外収益	
受取利息	169
受取家賃	2,640
その他	110
営業外収益合計	2,920
営業外費用	
その他	447
営業外費用合計	447
経常利益	642,064
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	58,293
特別利益合計	58,293
税引前四半期純利益	700,358
法人税、住民税及び事業税	235,269
法人税等調整額	△210,798
法人税等合計	24,470
四半期純利益	675,888

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式390,000株の取得を行っております。この結果、当第3四半期累計期間において、自己株式が397,909千円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が675,272千円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴う会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。